

十月四日 土曜日 雨復晴

空界状況 晝夜同く空界観良好ニテ疎通良好ナリ

通信諸元 前日ニ合シ

通信実施 奔信一通

著信一通

器材状況 受信機故障(凡三三〇受金接觸不良)外異ナシ

人員配置事項 陸軍部長谷津尚行暗号書込納込急三海軍ノ子定ヲ以テ部隊(出隊又

陸軍一軍少佐山崎重勲務次務ノ為原隊復帰ヲ命セラル出奔ナリ

外人要員及暗号書要員ナシ

備考 無線部隊長ノ増善返込ノ為谷津部長本留参ナリ尚山崎(子定)同以テ

ノ事一島ニ於テ我々陸部隊ノ敵約四個所ト激戦中ニテ十月三日迄ノ戰事

合戦場四五〇名戦車捕獲二名地雷六二枚トハ此戦迄獲者一隻

此迄艦名一隻撃破ノ意用舟艇一五隻撃沈ノ意ノ戦果ナリ二〇枚以上

ルニテ帝皇ト對テ國交断絶桂林ニ圍込勢ナリ之ガ消息ヲ日播新聞中

十一月五日 日曜日 晴

空界状況 晝同靜穏ニテ疎通良好ナルモ夜間派信空重大ニシ

テ受信困難ナリ

前日ニ合シ

通信諸元 奔信五通

通信実施 著信七通

器材状況 受信機感度^{不明}付凡三三〇取替ノ處感度良好ナリ

人員配置事項 谷津部長暗号書込納込急ノ部ノ隊歩隊中

外人要員及暗号書要員ナシ

備考 無線部隊長ヨリ谷津部長外一五時無事到着ノ期二日出奔ノ事定ナリ

警我警報各令三三三三分南西諸島合兵已

球才一六一号部 陸軍

マニラ東北方ニ優勢ナル敵機動部隊北上トノ情報ニ依

十月二十日 月曜日

晴

空界ノ状況 畫向靜穩ニシテ良好ナルニ夜間通信特空電大ニシテ對威捕獲得ル

通信諸元 前日ニ今ジ

發信 六通

器材ノ状況 送受信機異状ナシ

人員ニ事ニ事 谷津兵長暗部書込紙ノ為メ部隊出張中

外ノ員志氣旺盛ニシテ暗部書込紙ナシ

無線ノ隊長 谷津兵長外一名本朝出張ナシ

整之我軍警隊解除 一。村三ノ分南西諸島今地已

村三特別攻撃隊ノ首者比島東方海面ニ空母警隊一隻ナリ

我が艦空部隊ノ首者敵機動部隊ヲ捕獲 空母一隻撃破

我が潜水艦ハ上月廿二日此島東方海面ニ於テ空母一隻撃沈

我が潜水艦ハ上月二十日中ニ敵機輸送船數隻ヲ撃沈セリ

十一月七日 火曜日 晴

空界ノ状況 畫向靜穩ニシテ近來ニテ威度良好ナルニ夜間通信空電大

ニシテ對威捕獲得ル

通信諸元 前日ニ今ジ

發信 二通

著信 四通

器材ノ状況 送受信機異状ナシ

人員ニ事ニ事 谷津兵長暗部書込紙ノ為メ部隊出張中十時帰隊セリ

栢田一等兵勤務交替ノ為メ高倉分隊ノ復帰セリ

備ノ者 谷津兵長外一名本朝出張中人員暗部書込紙ナシ

我が艦空部隊再ニサイパンニ空襲 空襲警報ニシテ是ニ事ヲ施設ノ所破壊

七百間地方B型偵察機二機侵入ニ時二時偵察ヲリテ我が艦空部隊

一機及カレマリアノ諸島方面ニ進走セリ

ハ島島日本海軍ハ大浦我艦ヲ見守ルニ我ニテハ艦觀ヲ許サズ

電 報

十月八日 水曜日 大詔奉戴日 晴後曇

空界状況

晝夜間考慮信空電ニ対所感依テ受信困難ナリ

通信状況

前日ニ今ジ

通信状況

一信一通

著信一通

器材状況

受信機故障(回路断線及真空管一三三〇衰損)一五時修理完了ナリ

人員状況

全員志気旺盛ニシテ増強中ナリ

備考

比島方面最高指揮官 山下奉文(陸軍中将)

陸軍航空隊指揮官 陸軍中將 富永保次

七時ヨリ予校校庭ニテ遠拜式ヲ舉行セリ(佐藤隊長 橋田中尉 高橋一等兵若波二等兵)

副受信機故障中ノ處 一三三〇真空管交換シテ回復

正受信機ト交換セリ依テ現在通信機全部使用レ得ルモノナリ

十一月九日 木曜日 雨

空界状況

晝夜間考慮ニシテ良好ナルモ夜間混信空電大ニシテ対所感良好ナルモ受信困難ナリ

通信状況

前日ニ今ジ

通信状況

一信一通

通信状況

著信一通

器材状況

送受信機異状ナシ 電池新規交換

人員状況

全員志気旺盛ニシテ増強中ナリ

備考

木三十日本代探セリ(新米製飯多)

無線隊長ヨリ一三三〇号演習参加ノ為 本日一四時ヨリ一六時二十分迄一回

一付統制通信所ヲ中止ス

二當所ニ統制(中三三)ニ対所(アイコ)トシ時間交信中ナルニ付千萬此

ヲ得ルル城合アリ一三三三秘匿呼名(中三三)ニテ連絡サレ度

貴所ノ呼名ニ変更ス

陸軍

十一月十日 金曜日 雨

空界ノ状況 晝夜同通信有リタルモ疎通良好ナリ

通信設備 前日ニ今ニ

通信量 奔信 十通

著信 二通

器材ノ状況 送受信機異常ナシ

人員ノ状況 全員志気旺盛ニシテ暗誦書習熟ナリ

備考 有本營十一月十日奔表

十二時ヲ以テ桂林完全占領ナリ (同日十時龍州占領)

同方面陸軍最高指揮官 陸軍大將 岡村保治

海軍最高指揮官 陸軍大將 進藤信俊

十一月十一日 土曜日 雨

空界ノ状況 晝夜同通信良好ナリ

通信設備 前日ニ今ニ

通信量 奔信 十通

著信 一通

器材ノ状況 送受信機異常ナシ

人員ノ状況 全員志気旺盛ニシテ暗誦書習熟ナリ

豪雨ノ為空軍線施設破壊甚ク風雨ノ為修理不能尚通信設備

二八対所(海田) 近距離ナルニ付キ支障ナシ

六日本營十一月十日奔表

在支那航空部隊ハB29八十機内外ヲ以テ十一月十日頃九州西部及朝鮮清州島

ニ来襲シ雲上リ首爆シ逃走ナリ我カ方ノ損害輕微ナリ

十一月十日中國政府首席 汪精衛名古屋ニテ病氣ノ為逝去ス

十月十二日 日曜日 晴

空界、状況 晝間静穏ニシテ威度良好夜間通信有リシニ威度良好ナリ

通信諸元 前日ニ全シ

通信美施 著信一通

著信二通

器材、状況 送受信機異状ナシ

人員、状況 全員志気旺盛ニシテ暗探甚多異状ナシ

備 空軍線施設修理完了 対空威良好ナリ

新運搬及新到要機

桂林攻略戦果発表

遺棄死体五五五 捕虜一三五 各種砲一六〇 重機三二〇

小銃百五 戦車五 砲彈三〇〇 貨車三五 其、他兵器飛行機部品

多数捕獲あり(十日正午迄ノ判明セモノ)

十一月十三日 日曜日 晴

空界、状況 晝夜同共通信大ナルニ対空威良好ニシテ疎運良好ナリ

通信諸元 前日ニ全シ

通信美施 著信二通

著信三通

器材、状況 送受信機異状ナシ

人員、状況 全員志気旺盛ニシテ暗探甚多異状ナシ

備 無線隊長より、前ノ予定ル演習ハ一時延期トナリ、本夜ヨリ

演習ヲ開始シテ参加者一三三ニ四時ヨリ二時二十時迄ノ間通信

一時中止ス其ノ間ニテ通信線有リタル域ハ前ノ諸元ニテサレタ

二五時始メ十分間通信セラレタ

一新到作業者多シ

萬葉特別攻撃隊レテイ速ノ戦果

戦艦、輸送艦各一隻撃沈

十月十四日 火曜日

空界状況

晝夜同共感度良ナリ

通信諸元

前日ニ今迄

通信実施

弁信ナレ

器材状況

送受信機異状ナレ

人員

全員志気旺盛ニテ増辨書異状ナレ

備考

新刻作業実施

揚子ヨリ一七時二〇時迄誘有リ感度良ナリ

神風特別攻撃隊レイテイ高ノ戦果(十言)

輸送船(二万トノ級)ニ復撃沈 七隻美工大破

十一月十五日 水曜日

空界状況

晝夜同静穏ナレト夜同混信大ニテ対空感低ノ受信困難ナリ

通信諸元

前日ニ今迄

通信実施

弁信一通

器材状況

送受信機異状ナレ

人員

佐藤兵長 杉本一等兵 等向通信所へ通信連絡ニ為メ

即白痴隊ノ予定ニテ午後 一七時帰隊

備考

全員志気旺盛ニテ増辨書異状ナレ

十一月十六日 木曜日

空界状況 晝向静穏ナドト夜向混信ナシテ受信困難ナリ

通信諸元 前白ニ今心

通信実施 奔信一通

著信一通

器材状況 送受信機異状ナシ

人員配置 全員志氣旺盛ニテ暗辨甚異状ナシ

備考

昭和十六年四月十六日

十一月十七日 金曜日 晴

空界状況 晝夜向共混信ナクモ感度良好ナリ

通信諸元 前白ニ今心

通信実施 奔信八通

著信八通

器材状況 送受信機異状ナシ

人員配置 全員志氣旺盛ニテ暗辨甚異状ナシ

備考 無線隊長ノ理有乾電ハ四基分ニテ暗辨甚人言

異状ナシ 五布受領ノ為ニテ百才一線終者出奔ナリ

十一日

在 軍

十日 十八日 土曜日 晴

空界ノ状況 晝夜間共空界ノ極メニ良好ナリ

通信機元 前日ニ公口

通信機施 奇信一通

著信 二通

器材ノ状況 送麦信機ノ状況

人員ノ勞務 全員志氣旺盛 増野吉ノ状況

備ノ名 新切作機ノ状況

十一日 十九日 日曜日 晴

空界ノ状況 晝夜間共感度良好ナリ

通信機元 前日ニ公口

通信機施 奇信一通

著信 一通

器材ノ状況 送麦信機ノ状況

人員ノ勞務 全員志氣旺盛 増野吉ノ状況

備ノ名 新切作機ノ状況

有線電話ノ保線巡回ス

陸軍

十日 二十日 月曜日 晴

空氣狀況 晝間靜穩ニシテ良好 夜間混信大ナルモ受信ニ支障ナシ

通信諸元 前日ニ全シ

通信量 著信五通

著信七通

器材狀況 送受信機 異常ナシ

人員勤務 全員志氣旺盛ニシテ暗部書寫狀況ナシ

各隊隊長 各日通信ノ入通信連絡ニ急メ即白濁一隊

為メ出張 一八時帰隊

備考

十一日 二十五日 火曜日 曇後雨

空氣狀況 晝間靜穩ニシテ夜間混信甚大ニシテ受信困難ナリ

通信諸元 前日ニ全シ

通信量 著信二通

著信五通

器材狀況 送受信機 異常ナシ

人員勤務 全員志氣旺盛 暗部書寫狀況ナシ

備考